

令和6年度 旭川市中小企業審議会 第1回会議 会議録（要旨）

○日時 令和6年4月24日（水） 15:00～16:05

○場所 総合庁舎 7階 大会議室A

○出席者 委員）川口会長，米澤副会長，大谷委員，鎌田委員，近藤委員，土井委員，新山委員

事務局）三宮経済部長，高橋経済部次長（経済総務課長），石崎経済部主幹，上田経済交流課長，小松経済交流課主幹，住吉産業振興課長，青葉企業立地課長，内田工芸センター所長，田村旭山動物園長，沼田旭山動物園主幹，中田旭山動物園主幹，菅原観光スポーツ部長，白木観光スポーツ部次長（観光課長），大川観光課課長補佐，木村観光課主査，上平経済総務課課長補佐，篠原経済総務課経済企画係主査，杉村検討部会部会長

○会議資料 次第

資料1 旭川市観光振興のための新たな観光財源に関する答申（案）

資料2 令和6年度旭川市中小企業審議会のスケジュール（案）

資料3 令和6年度経済部の施策と主な事業内容

資料4 令和6年度旭山動物園の取組について

資料5 令和6年度観光課施策の概要

1 開会

2 経済部長あいさつ

3 職員紹介

経済部長から，4月の人事異動に伴い新任となった職員を紹介した。

4 報告

（1）旭川市観光振興のための新たな観光財源について

資料1に基づき説明。次のとおり質疑があった。

（委員）

旭川市の近隣で宿泊税を導入している市町村はあるか。

導入している道北地域の市町村と連携し，例えば圏域で連泊割引などを実施すれば，税金が発生する事に対してマイナスのイメージに繋がりにくいのではないか。

（観光課長）

現時点で導入している市町村はなく，美瑛町が導入を検討中である。

(川口会長)

ほかに質疑、意見はないため、報告のとおり承認でよろしいか。

(全委員承認)

(観光課長)

承認いただいたため、今後市長に対し、川口会長、柏葉委員、杉村部会長により答申する予定である。

## 5 議題

(1) 中小企業審議会のスケジュールについて

資料2に基づき説明。承認された。

(2) 令和6年度経済部等の主な取組について

資料3, 4, 5に基づき説明。次のとおり質疑があった。

(委員)

資料6ページにあるとおり、夜間、朝の観光コンテンツ作りが非常に大事だと思う。旭山動物園では夜の動物園を8月に1週間ぐらい実施されているが、期間を長くすることは可能か。宿泊者数の増加に繋がるのではないか。

(旭山動物園長)

お盆の期間に夜の動物園を7日間ほど実施している。動物の夜の生態を見ていただくことは大変意義があるため、ぜひ継続していきたい思いではあるが、本園としては動物の負担を第一に考えており、期間を長くした場合、動物の負担となる恐れがある。海外の事例ではシンガポール動物園は昼とは別に夜に特化した施設を設け、動物に極力負担のかからないようにしている事例もある。今後、動物の飼育環境を第一に考えながら手法を検討したい。

(委員)

若者地元定着奨学金返済補助事業について、平成5年度の利用者数、補助金額はどの程度であったか。

(経済総務課長)

令和4年度登録が87人、交付者は96人で、約404万円の補助。令和5年度は登録者が68人、交付者が65人で、約300万円の補助である。制度改正の影響で金額が下がったものである。令和4年比で登録者が減っているため、全国の大学などへの案内や、SNSなどを活用したPR、特に企業向けのPRに取り組んでいるところである。

(委員)

なぜ旭川に観光客が来ないのか分析が必要である。旭川市役所では、海外から来旭している人材を活用して、SNSなどでPRするということは実施しているか。

(観光課長)

ジェットスター航空が旭川空港に就航したが、ジェットスター・ジャパンはオーストラリアのカンタス航空が株主であるということに加え、オーストラリアは観光支出の高い国であることから、オーストラリアを観光ターゲットとしたいと考えている。このため、発信力のある方に旭川に来ていただき、冬の観光や醸造文化を活用した産業観光など、旭川の魅力を知り、発信していただき、また我々も発信の仕方などを学びたいと考えている。

(委員)

海外の人材を市の臨時的な職員として採用してはどうか。

(産業振興課長)

産業振興課では、事業者が海外との販路開拓等やデザイン都市など海外と交流をする必要が生じる場合があるため、今年度4月8日から一般財団法人自治体国際化協会の外国青年招致事業(JETプログラム)を活用して、シンガポールから1名の方に来ていただき配属されている。

(委員)

旭川は嵐山からの夜景や、醸造、観光など何でも揃っていると思っている。野菜を作るにしても、ニラ、にんじん、トマト、ジャガイモ、小豆と何でも作ることができる。旭川は何でも出来るため、説明いただいた予算を見てもわかるように、まんべんなく配分しなければならない。何かポイントを絞って事業を実施してはどうか。

(経済部長)

委員がおっしゃったように、旭川はポテンシャルがあるがそれを生かしきれていないのではないかと、という指摘をいただくことがある。そうした中、本市はユネスコ創造都市ネットワークのデザイン分野に加盟したため、そのことを活かして特徴を出していこうと考えている。資料3にもあるとおり「デザイン都市旭川の推進」ということを一つの柱としている。その中で、委員がおっしゃった様々なものが収穫できたり、収穫出来なくても集積する場所であるということ、デザインの力で見直し、「フードフォレスト旭川構想」といった構想を今年度から具体化したいと考えている。特に滞在型観光にも繋がると思うが、朝ご飯に焦点を当てたプロジェクトを実施していきたいと考えている。

(委員)

旭川は観光面での取組が足りないと感じている。旭川には、建物だけでも素晴らしい優佳良織工芸館や、冬の素晴らしさを生かしたウインタースポーツ、旭山動物園など、ま

ちづくりへの様々なアイデアがあるのではないか。

(委員)

観光課長，優佳良織工芸館は現在どのような状況か。

(観光課長)

観光課では詳細は把握はしていない。優佳良織工芸館のような大型施設は確かにインパクトがあり集客力もあるが，仮にこういった施設を公共で整備するとなると，それなりの予算がかかるため，市民の納得感がないと難しいのかと思う。

(川口会長)

ほかに質疑，意見はないため，報告のとおり承認でよろしいか。

(全委員承認)

## 5 その他

事務局から次回審議会日程について説明があった。

## 6 閉会